

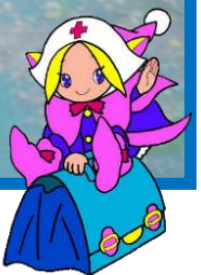
医療法人南労会 紀和病院季刊誌

# ウェルビー

ご自由に  
お持ちください

古く美しい変わらない風景

守るべき医療の本質を胸に――



第 51 号 2022 年度 夏

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000  
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: http://www.nanroukai.or.jp





# 紀ノ川の水 流れて清く

# 霊山高野は高く南に

私の出身である、高野口小学校の校歌の冒頭です。高野口小学校を卒業してから約30年、私はこの和歌山で医師として働きはじめました。肺がんなどの呼吸器疾患を中心に診療を行ってきた私ですが、現在は紀和病院の緩和ケア病棟（ホスピス）にて、緩和ケア医として勤務しています。

現代において、がんの治療はまさしく日進月歩の勢いで進歩しております。しかし、その一方で、一人の人間として患者さん一人一人を治療していく、ということは変わることがなく、医療の本質はそこにあると思います。患者さん一人一人の意志を尊重し、ご家族さんとの時間を支えていくことの大切さがそこにあります。がんによるつらさや痛みをできる限り和らげること、そして、患者さんご本人やご家族に寄り添うことが、緩和ケアで大切にしていることです。

また、現在では、緩和ケア病棟にて診療を行うとともに、急性期病棟や慢性期病棟においても、痛みや苦しみの緩和が必要な患者さんに、緩和ケアチームとして、主治医の先生たちを中心とした診療に参加しています。たとえば、抗がん剤治療中の患者さんの様々な症状、間質性肺炎や心不全での苦しき、などです。動き出して2年ほどの若いチームですが、進歩している医療に対応していきたいと思えます。

表紙の写真は私の通勤風景です。古く美しい変わらない風景の中に身をゆだねながら、進歩し続ける医療への挑戦と、守るべき医療の本質を胸に日々励んで参ります。



■緩和ケア病棟にて



疼痛緩和内科医 廣岡医師と

■がん以外の患者さんも診療しています



循環器内科医 永野医師と



消化器外科医 竹内医師と

## 疼痛緩和内科医 曾和 晃正 (そわ てるまさ)

【略歴】 大阪市立大学医学部 (平成 17 年卒)  
京都大学大学院医学研究科 (平成 29 年卒)

【資格】 医学博士  
日本緩和ケア学会 会員  
日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医  
日本外科学会 外科専門医



# 3年ぶり！小学生への「がん教育」

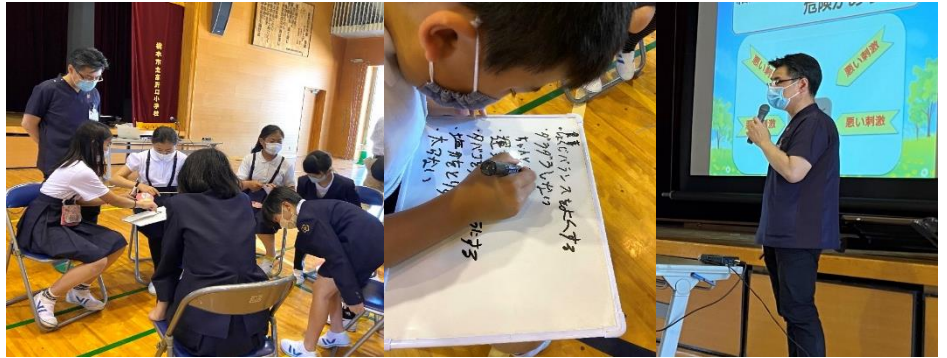


©橋本市



【ピンクリボンはしぼう】  
2015年度から開始した「がん教育」のキャラクターとして、橋本市はしぼうとコラボ！

高野口小学校で開催した小学生への「がん教育」。  
NHK和歌山、橋本新聞、読売新聞、テレビ和歌山、FMはしもと等の多くのメディアに取り上げていただきました。



紀和プレスト（乳腺）センター長 梅村医師による橋本市内の小学校（実施予定12校）で5月18日から「がん教育～生命（いのち）の授業～」が始まりました。コロナ禍による、がん検診の受診率の低下、進行がんの増加など、決して見過ごすことのできない状況が続いています。そこで、3年ぶりに授業を再開し、子どもたちから大人に向けてがん検診の啓発や、がんに対して正しい知識の習得、がんを通して命の大切さを学んでほしいと願っています。

## 橋本市議会議員の皆様をお招きし説明会を開催



### 膵臓・胆のうセンターおよび膵がんドックについて

6月6日（月）、紀和病院4階ウェルビーホールにて、院長 山上医師による説明会を開催しました。質疑応答では、活発な意見交換もあり、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。議員の方からは、橋本市の医療が、住民の方の視線に立った、さらに安心安全な医療が受けられる、信頼の医療を確保した住みやすい街になるよう、これからも一緒に頑張りましょうとお声かけもいただきました。

また『山上院長の車座講話』として地域の皆様のところにも伺わせていただいております。ご希望の方はお気軽に紀和病院までお問合せください。



### 最新鋭の超音波内視鏡（EUS）導入しました

超音波内視鏡(EUS: Endoscopic Ultrasonography)とは先端に高解像度の超音波が備わった内視鏡です。この超音波内視鏡 (EUS)も「胃カメラ」と同じで口から挿入します。超音波内視鏡 (EUS)の先端を胃壁や十二指腸壁にあてて観察を行うことで、消化管壁のすぐ向こう側にある膵臓や胆嚢などを至近距離で詳細に観察することができます。



#### このような方にお勧めします

- ☑ 喫煙する
- ☑ お酒を多く飲む
- ☑ 糖尿病の方
- ☑ 膵臓の病気（慢性膵炎）にかかったことがある
- ☑ 胃のあたりや背中が重苦しく、体重が減っている
- ☑ 血縁者に膵がんの方がいる
- ☑ 尿の色が濃くなる など

健康管理センター(土・日曜日、祝日、年末年始除く) 予約・お問合せ ☎ 0736-33-5160

膵がんドック





## 私たち紀和病院は 感染対策を評価するため 院内ラウンドを実施しています



### 【講師】

和歌山県立医科大学附属病院  
感染制御部 小泉祐介病院教授

### 基調講演『COVID-19 の感染対策』

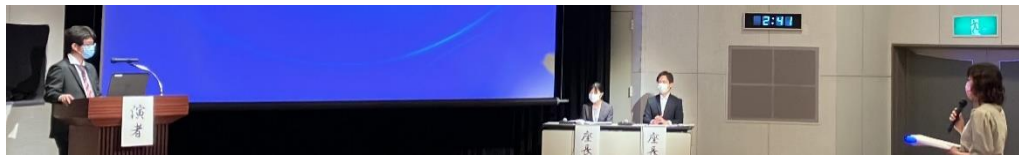
和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部、小泉祐介病院教授をお招きして院内感染ラウンドを実施致しました。3階西病棟のコロナ病棟・HCU・2階西病棟・救急外来・クリニック・透析室の6箇所を実際にラウンドし、水回りや、空気の流れなど念入りに調査をしていただきました。院内ラウンドに続き、「COVID-19 の感染対策」の基調講演においては、オミクロン株の変異型や曝露のリスクが上昇する場面などわかりやすく講演をしていただき、当初 80 名と予定していた参加者は、132 名<sup>※1</sup>と大盛況で終わることができました。

※1 CO<sub>2</sub>モニタリング実測値 410~710ppm.



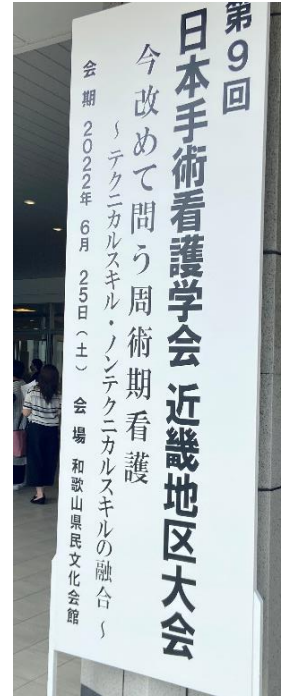
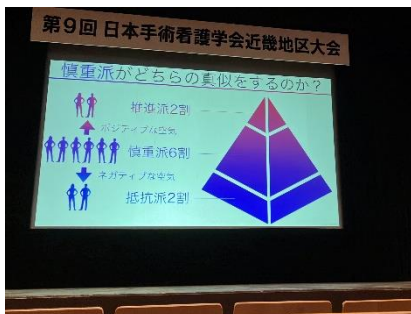
## 第18回 学術研究発表会

医師・看護師・  
理学療法士、作業療法士を  
はじめとする各スタッフが医学の発展と技術の  
向上を目指して、積極的に学術活動をおこなっています。



日々の業務と並行して、この発表のために1年を通して準備をしてきました。データを集めたり、統計をとったり、患者さんにアンケートを行ったり・・・真剣に研究に取り組んだ成果を発表しました。発表のテーマもこれからの病院に役に立つものが多く、また発表の仕方や、話し方も洗練され、大いに進歩した研究発表会でした。また新たな課題に向かって前進して参ります。

## 第9回 日本手術看護学会 近畿地区大会



和歌山市で開催された第9回日本手術看護学会 近畿地区大会に院長 山上裕機医師をはじめ、手術室や感染対策室の看護師等で参加してきました。大会長を務めた当院手術室 師長 山本純史看護師の司会で始まった招待講演では、山本師長から突然指名された院長 山上医師が当院のガーゼカウントのルールなどを説明され、演者 佐藤和弘氏と共に会場を巻き込んで 濃厚な意見交換をしてきました。佐藤氏が展開する「組織の 2:6:2 の法則」や、様々な研究発表に触れることができ、3年ぶりの現地開催ということもあり良い刺激になった一日となりました。



—地域の方々の生活を支え、住民の方の幸せに貢献できる診療所でありたい—

高齢化社会において、頼れる医療機関が近くにあるということはとても大切だと思います。健康に関わる諸問題を気軽に相談できる。患者様やご家族の考えを尊重しながら、解決へのお手伝いができる。地域の皆様の困りごとを共に考え、改善していける診療所を、私たちは目指しています。

—専門を問わず、幅広く診療—

当院では総合医が診療の中核を担っています。外来、在宅医療など様々な医療サービスを、多職種のチーム医療で提供します。外来は小児から高齢者まで、慢性疾患のみならず、予防接種、診療科を問わない救急の初期診療と、幅広く対応しております。在宅医療では、様々な病状でも住み慣れた自宅や施設での生活を続けられるように、医師や看護師がご自宅や施設での訪問サービスを提供しています。

—ひとを育てる—

このような医療を継続していくために不可欠なのが、教育と考えます。当院では看護スタッフの勉強会、自治医大・医学部地域枠学生の実習、初期研修医・専攻医の研修教育も積極的に行っています。フレッシュな若者が常に在籍することがベテランスタッフにも良い刺激となり、常に学び続ける文化が育まれています。また、若手医師に医療資源の限られた環境での診療を経験してもらうことは、きっと将来の病診連携の理解に繋がってくれていると、信じています。

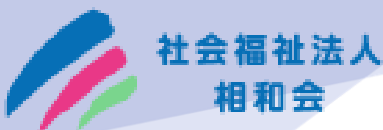
—これまでも、そしてこれからも—

「地域と共にありたい」と願い、「私たちにお手伝いできることは何かないか？」を大切にしながら、全身全霊で診療に取り組んで参る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



\* 本文は院長 田中瑛一朗 先生よりご寄稿いただきました。

高野山総合診療所 和歌山県伊都郡高野町高野山 631 TEL 0736-56-2911



社会福祉法人  
相和会



居心地のいい場所  
当院協力施設

ゆったり・・・  
まったり・・・



2005年に自然に恵まれたかつらぎ町柏木に快適・安心・安全な生活をしていただくために開設されました。自立した方はケアハウスで、要支援1から要介護5の方は、ケアハウスの特定施設入居者生活介護の利用により365日24時間介護サービスの提供を受けて生活されています。

現在、自立した方から要介護5までの方が入居されています。居室にはトイレ・洗面台・冷蔵庫・ミニキッチン・クローゼットがついております。

社会福祉法人相和会 ケアハウスかつらぎ乃里  
和歌山県伊都郡かつらぎ町柏木 848 TEL 0736-23-2233